

グレープフルーツおよび他の柑橘類との薬物相互作用

グレープフルーツに含まれ、薬に影響を及ぼす成分はフラノクマリン類と呼ばれるものです。同じような柑橘類でもフラノクマリン類を含む量には違いがあり、柑橘類以外でも含まれていることがあります。すべての柑橘系が食べられないわけでもありませんが、注意が必要な柑橘類があります。

注意

- コップ1杯のジュースでも薬の分解は遅れ、薬効が強くなるおそれがあります。
- グレープフルーツを一度摂取すると、3~4日間程度作用します。

注意が必要な柑橘類と食品 (効果増強が考えられる)

- 夏ミカン・ダイダイ
- サワーオレンジ・ブンタン（ザボン）
- 絹皮（安藤みかん）・スウィーティー
- ハッサク・晩白柚・金柑・ライム など
- 柑橘系以外の食品：イチジク・ざくろ など



注意が少ない柑橘類と食品

- 温州みかん・カボス・バレンシアオレンジ
- マンダリンオレンジ・ネーブル・日向夏
- レモン・ゆず・リンゴ・ブドウ・など